

最低賃金改定による経営環境悪化に懸念

連日の猛暑が消費減退、農作物の不足や高騰などに影響

～景況 DI 値は、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス15.8～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比52.6ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス21.0。非製造業では、前月比同水準のプラス26.3、前年同月比21.1ポイント低下のプラス15.8。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラス21.0。非製造業では、DI 値前月比20.9ポイント上昇のプラス31.5、前年同月比31.6ポイント上昇のプラス63.2。

収益状況 製造業では、DI 値前月比31.6ポイント低下のプラス26.3、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス42.1。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のプラス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のプラス10.5、前年同月比0.1ポイント低下のプラス5.2。

景況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス36.8。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のプラス5.3、前年同月比10.6ポイント低下のプラス5.2。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス15.8となった。製造業では、光熱費、原材料等諸経費の高騰が収益を圧迫しており厳しい状況が続いている。一部業種では価格転嫁の対応が見受けられたものの、お盆の影響もあり受注量は減少傾向となった。引き続き米国関税の影響によるさらなるコスト増加が懸念されるなど先行きは不透明なままとなっている。非製造業では、お盆休暇や多くのイベント実施により観光関連では人流が増加し賑わいが見られたものの、長引く物価高騰による消費者の節約志向は強く、収益状況は悪化傾向が続き、景況も悪化した。県内景況は、消費減退、農作物の不足・高騰など連日の猛暑による影響が大きく、厳しい状況が続いている。また、本県の最低賃金が過去最大の引上げ額で改定が決定し、労務費の増加に対応する原資の確保が求められるなど、さらなる経営環境の悪化が懸念される。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

8月の全国倒産は、件数751件で、（前年同月746件、0.7%増）と2025年で最も少なかったが、3カ月連続で前年を上回り、増加ペースで推移した。8月としては過去10年で最多となった。2025年1～8月の累計は6710件で、前年同期（6553件）を157件、2.4%上回った。

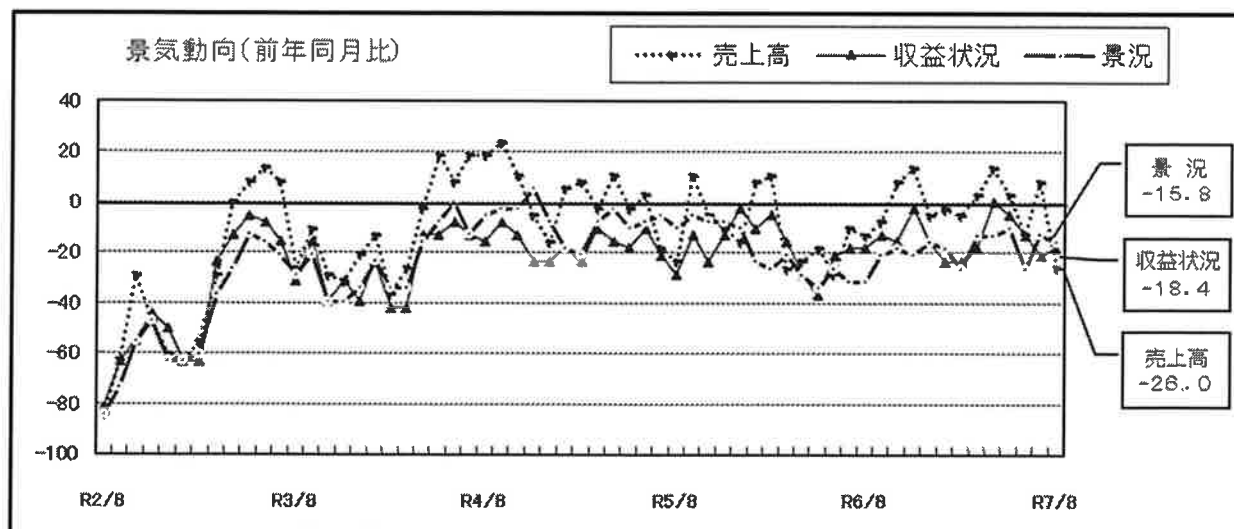
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月1件）、負債総額は1億9300万円（前月7500万円）となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」）

鳥取県の7月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.25倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.22倍）で、前月と同水準となった。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.09倍、米子所1.29倍、倉吉所1.40倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.20倍（季節調整値）で、前月より0.06ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比1.0%減少し、有効求人数も4.7%減少した。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（23.5%）、卸売業・小売業（11.8%）、医療・福祉（5.9%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比2.1%増加、有効求職者数は前年同月比4.0%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.01倍で、前年同月に比べ0.07ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ3.6%減少した。



8月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	42.1%	-26.3 -52.6	52.6%	26.3%	26.3 0.0	34.2%	34.2%	0.0 -26.3
(2) 在庫数量	5.3%	5.3%	0.0 15.8	25.0%	8.3%	16.7 -16.6	12.9%	6.5%	6.4 3.2
(3) 販売価格	10.5%	0.0%	10.5 5.2	36.8%	5.3%	31.5 20.9	23.7%	2.6%	21.1 13.2
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 5.3	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	2.6%	2.6%	0.0 0.0
(5) 収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 -31.6	31.6%	21.1%	10.5 -10.5	21.1%	28.9%	-7.8 -21.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	5.3%	5.3%	0.0 -5.3	2.6%	7.9%	-5.3 -8.0
(7) 設備操業度	5.3%	26.3%	-21.0 -36.8						
(8) 雇用人員	0.0%	21.1%	-21.1 -15.8	10.5%	0.0%	10.5 -5.3	5.3%	10.5%	-5.2 -10.5
(9) 景 況	5.3%	31.6%	-26.3 -10.5	21.1%	15.8%	5.3 -10.5	13.2%	23.7%	-10.5 -10.5

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	42.1%	-21.0 0.0	42.1%	26.3%	15.8 -21.1	31.6%	34.2%	-26.0 -33.9
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2	16.7%	0.0%	16.7 0.0	9.7%	9.7%	0.0 -3.2
(3) 販売価格	26.3%	5.3%	21.0 0.0	63.2%	0.0%	63.2 31.6	44.7%	2.6%	42.1 15.8
(4) 取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 10.5	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	5.3%	13.2%	-7.9 2.6
(5) 収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 15.8	31.6%	26.3%	5.3 -10.5	18.4%	36.8%	-18.4 2.7
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -0.1	10.5%	10.5%	0.0 5.2	5.3%	15.8%	-10.5 2.6
(7) 設備操業度	0.0%	31.6%	-31.6 -15.8						
(8) 雇用人員	0.0%	26.3%	-26.3 -5.3	10.5%	5.3%	5.2 -0.1	5.3%	15.8%	-10.5 -2.6
(9) 景 況	5.3%	42.1%	-36.8 5.3	26.3%	21.1%	5.2 -10.6	15.8%	31.6%	-15.8 -2.7

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 依然として鶏卵の高値や電気、LPG 等光熱費の高止まり等により収益を圧迫している。加えて、借入金利の上昇にも苦慮している。

醬 油⇒ 味噌・醤油の業界は商品値上げの影響もあり取扱数量が減少したものの、売上については前年並みで推移している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ マーケットの動きは鈍く、仕事量は低水準で推移している。

ニット製品⇒ 春、夏物の受注提案、値決めの時期であるが、商況は悪い。10月からの最低賃金アップもあり労務費の転嫁を進めたいが、従前のコストアップ分も転嫁は不十分で困難な状況。

【家具装備品】

⇒ 需要低迷のなか、物価高に伴う原材料や燃料費の上昇により収益性が低下、加えて建物等設備の老朽化や後継者不足もあり、地域の同業者に廃業の動きが散見される。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少、収益状況は前月比で同水準、前年同月比で減少した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で減少、前年同月比で微減、製材品の生産量は横ばい、合板の生産量は前月比で微減となった。3月の駆け込み需要の反動は解消されつつあるが、盆明け後の状況は思わしくなく在庫増の傾向にあり、原材料の入荷量は需要に反映し減少傾向となっている。製材品の生産量が年々減少している一方、乾燥材の割合が近年増加傾向にあり県外では製材、加工ラインに乾燥工程を加えた工場竣工が計画されるなど、乾燥材の供給に向けて取り組みが増えている。プレカット加工の稼働率は前月比70%、前年同月比は100%で推移した。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。

【印 刷】

⇒ 猛暑が続くことで熱中症対策関連の印刷依頼が増加した。また、コロナの影響も低下したことでイベント関係の印刷が昨年より増加した。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 東部地区の8月の出荷量は、前月比約72%、前年同月比約95%となり、いずれも減少となった。5月頃から収束していた災害復旧工事需要は6月、7月に前年同月比で100%を超える水準まで増加したものの、8月は減少に転じ、今後も減少傾向が継続する見通しとなっている。中部地区では前月比約78%、前年同月比約60%といずれも大幅に減少した。4～8月の累計でも前年同月比は72%台にとどまり、依然として低水準で推移しており、今後も低調が続く見通し。西部地区では前月比約77%と減少したが、前年同月比では約104%と前年並みの水準を維持した。今後も堅調な推移が続くと予想される。若手人材の確保に苦慮しており、今後の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

金属部品加工⇒ 8月の部品加工業は、全般的に弱含みの状態が続いており、景況感

縮小局面にある。先行き業況判断も3か月ぶりに低水準へと後退し、需要環境の不透明感や国際情勢の不確実性を背景に、慎重な見方が広がっている。コスト面では、原材料価格の上昇が継続する一方、販売価格の上昇は鈍化傾向にあり、価格転嫁の難しさが収益を圧迫する要因となっている。分野別にみると、自動車部品は国内需要が比較的堅調に推移しているものの、米国における関税政策の不透明感が重荷となり、心理的な冷え込みがみられる。半導体関連では、生成AIやデータセンター向けの需要が堅調である一方、自動車設備や民生品向けの需要は弱含みで、分野ごとに明暗が分かれる状況となっている。ただし、食品加工設備など一部に入れ替え需要もみられ、それに関わる組合員の中には多忙を極めている企業もある。総じて、8月の部品加工業は、国内需要に一定の底堅さが認められるものの、輸出需要の減少や国際的な政策リスクが景況感を押し下げており、先行きに対しては一段と慎重な姿勢が強まっている。

鉄骨加工⇒ 見積件数は少しずつ出てきたものの、全体的に物件数は少ない状況が続いている。手持ちの工事量、稼働率については格差が見受けられるが信頼関係を構築したファブリーケーター同士の加工協力体制の維持、強化の動きが窺える。各社で秋口以降から年末にかけて受注生産工程の調整に取り組んでいる。未だに先行き不透明な経済状況であるが、無理な条件での安値受注は各社とも注視している。

金属熱処理⇒ 盆休暇の影響もあり、先月より受注量が減少したものの前年同月比では若干増加となった。景気は低迷したままであるが、組合員によっては新規の受注を取り込むことができつつある。3年越しに値上げに応じてもらった大手企業は、資材のコストが下がれば値下げ要請をするとのコメントもあった。

【電気機械器具】

⇒ 米国関税の影響により材料の納期遅延が発生しているうえ、材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。安定生産に支障をきたしており、収益確保が厳しい状況。設備投資や賃上げ等への対応に苦慮している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、例年前月比で売上高、取扱数量とも増加する時期であるが、猛暑の影響で取扱数量が減少している。一方、売上高は単価の上昇によって増加している。前年同月比では、猛暑の影響で売上高、取扱数量とも大きく減少している。鮮魚関係では、前月比では単価の上昇により売上は増加したものの、取扱数量は減少している。前年同月比では猛暑の影響により売上高、取扱数量とも大きく減少している。最低賃金の引き上げは従前より予測はしていたものの、あらゆる諸経費が高騰しており、経営環境に重くのしかかる問題となっている。固定費の増加により売上や収益の確保は困難で、労務費の増加に対応する原資の確保に苦慮するなど大きな不安が生じている。

中部地区⇒ 前年度は大型物件もあり業績が大幅に伸びていたものの、今年度は大きな物件がなく売上、粗利ともに減少となった。Windows 10サポート終了まで2ヶ月を切り、最後の駆け込みが増えてきている。また、パソコンのアップグレードと同時に生産性向上を検討する相談も増加している。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金

融機関の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。米国関税の合意も、従来からの関税上昇の影響が懸念され先行き不透明感は強まっている。

水産物⇒ 巻き網は数量としては昨年を上回る水揚げとなったものの小羽、小ウルメ、小型アジ、ハマチ、ブリ等が日替わりの水揚げとなり、中心となる魚種が定まらず全体としては低調に推移した。今月は盆期間の長期休漁、また異常な猛暑が続き生鮮の消費が落ち込み、水揚げ、荷動きともに夏枯れ状態になった。

リサイクル原料⇒ 取扱品物の発生数量は若干の減少が見受けられる。価格の変動はないが、今後低下が予想される。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、8月は前月に引き続き土曜夜市の歩行者天国や、しゃんしゃん祭りのイベントで例年より多くの来街があり、商店街全体で売上も増加した。今後の仕入れ価格や最低賃金の上昇により店舗の経営圧迫が懸念される。消費者の財布の紐は引き続き固く、生活防衛の色が濃く出ている。インバウンドを含む旅行者などの増加はプラス要因であるが、物価上昇でコストの負担が大きくなっており、小売も飲食も価格転嫁により売上は増加していても、原価などコストの上昇の方が大きく、トータルでは厳しい状況に変わりはない。

鳥取市の水産物小売では、8月はお盆までは前年並みの入り込み数で推移した。月の後半には7月5日の「大災害予言」の影響により大幅に減少していたインバウンドがツアーも再開したことで増加傾向となった。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、酷暑が続く8月となり夏休みや帰省客で人流が増えたものの、外出が控えられ、例年ほどの人通りとはならなかった。お盆が終わり、『遙かな町へ』の映画撮影がクランクインし旧市街で撮影が行われたことで街に活気がよみがえった。一時的ではあるが、関係人口が増え、賑わいが増したひと月であった。引き続き『アートスタンプラリー』や『ひなビタ♪スタンプラリー』で来街者の増加を期待する。また、谷口ジローの『遙かな町へ』撮影の関係者の行き来で街の活性化に繋げられることも期待する。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、がいな祭り当日には広場にて「元町エンタメストーリー」を開催し、バンド、歌、お笑い、楽器演奏など多彩なジャンルの県内パフォーマー出演してもらい、大変賑わいをみせた。あいにくの天候に集客は多くなかったが、子どもから大人まで幅広い世代、地域内外の多様な立場の方々が関わり、顔を合わせ、交流する場となった。お盆シーズンには観光客、帰省客で賑わった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、8月に入り本格的な夏休みシーズンとなり、人流は活発になってきたが、前半は猛暑の影響か以前ほどの人賑わいは見受けられなかった。お盆休みの前半は雨もあったが影響も少なく、後半は天気にも恵まれ多くの観光客でにぎわい、お盆以降も夏休みで家族連れや学生、インバウンド客で賑わった。団体バスは、もともと動きが鈍い時期でもあり、さらに万博ツアーがどの旅行社も人気で、鳥取方面へのツアーは少なく厳しいものとなっている。

米子市のホテル・旅館では、宿泊客は前年同月比で増加傾向となっている。夏休みに入り宿泊客は増加し、特にインバウンドの旅行者の増加が見受けられる。恒常的に人材不足が続いている。

三朝温泉では、台風や大雨の影響がなく、キャンセル等も発生せず昨年比で入込数は増加したものの、万博の影響からか単価については昨年を上回らなか

った。今年は高価格となるお盆等ハイシーズンを避ける傾向で、予約のリードタイムも短くなっている。

羽合温泉では、8月の宿泊は前月比約45%増加、前年同月比約12%増加となった。月の前半は高校インターハイの受入、中頃にはお盆休みの影響もあり、月を通して宿泊客が伸長した。

【自動車整備業】

⇒ 8月の新車は普通車・軽自動車を合わせて1,536台で前月比は30.3%、前年同月比は9.1%でともに減少となった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて530台で前月比25.4%、前年同月比は10.3%でともに減少となった。継続検査は普通車・軽自動車を合わせて12,125台で前月比26.6%、前年同月比4.2%でともに減少となった。お盆を挟んだ10日前後の夏季休業の影響が大きく出ている。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額118億円(前年同月比11.9%減)、件数178件(前年同月比20.2%減)となった。年度累計(令和7年4月～令和7年7月)は、請負金額428億円(前年同月比0.6%減)、件数680件(同9.8%減)。地区別では、西部、日野地区で増加、中部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった(前年同月比)。設備投資は単月で前年同月比プラスに振れるも、3か月平均はマイナスが続き、住宅投資、公共投資は単月、年度累計ともにマイナス。全体としては弱めの動きとなっている。また、先行きも弱含む。資材価格や労務コストの高騰による売上、採算の悪化は継続している。また、住宅関連工事の不振が危惧され、猛暑にかかる生産性の低下の影響も懸念されている。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は137戸(持家105戸、貸家32戸)で、前月比1%減少、前年同月比41%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 8月の物流は、製造業の輸送が低調なままで、猛暑などの影響で農産物の出荷量が少なく、輸送量としては低調であった。依然としてドライバー不足は深刻で時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上はお盆休みが大型連休となり、売上高は前月比では減少となった。法改正(物流効率化法)の対応に追われる中、燃料価格や人件費及び車両本体価格などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、今後も厳しい状況に変わりはない。現在廃止対象から除外されている軽油取引税の暫定税率分の廃止に期待が持たれる。

西部地区⇒ 配送関連については盆休暇などもあり稼働日数が少なくなったことや、少雨に伴う果実の発育不良のため全体的に荷物が少なかった。燃料価格については原油価格の上昇に伴いさらに増加した。引き続きドライバー不足も深刻であり人材確保のため一層の経営努力が必要となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・電気料金、ガス料金の値下げを望む。米国関税に対するコストダウンを下請けに依頼しないよう対策を望む。【金属熱処理業】
- ・収益確保に寄与する支援施策を望む【卸売業】
- ・消費税廃止など大胆な経済政策を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	21.0	-10.5	-10.5	26.3	-26.3	10.6
	非製造業	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	-26.3	21.0	21.0	26.3	26.3	-5.2
	全業種	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	-2.7	5.3	-18.4	26.3	0.0	2.6
在庫数量	製造業	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-26.3	0.0	-10.5	-15.8	0.0	10.5
	非製造業	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	8.4	25.0	16.7	33.3	16.7	0.0
	全業種	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	-12.9	9.6	0.0	3.2	6.4	6.4
販売価格	製造業	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	-5.2	10.5	15.8	5.3	10.5	0.0
	非製造業	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	10.6	31.5	5.2
	全業種	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	2.6	13.1	10.5	7.9	21.1	2.6
取引条件	製造業	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	-5.3	0.0	5.3	5.3
	非製造業	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0
	全業種	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	0.0	-7.9	-2.6	0.0	0.0	2.6
収益状況	製造業	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-5.3	-15.8	-15.8	5.3	-26.3	10.5
	非製造業	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-26.3	5.3	-10.6	21.0	10.5	-10.5
	全業種	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.8	5.3	-13.1	13.2	-7.8	0.1
資金繰り	製造業	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3
	非製造業	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.3	5.3	0.0	-15.8
	全業種	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	2.7	-5.3	-10.6
設備操業度	製造業	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	5.2	15.8	-21.0	15.8	-21.0	10.5
雇用人員	製造業	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-21.1	-5.3
	非製造業	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3	0.0	0.0	15.8	10.5	0.0
	全業種	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3	-5.2	-5.3	5.3	-5.2	-2.6
景況	製造業	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-31.5	-36.8	-21.1	-15.8	-26.3	0.0
	非製造業	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-26.3	0.0	-5.3	15.8	5.3	5.3
	全業種	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-28.9	-18.4	-13.1	0.0	-10.5	2.6

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との 増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売 上 高	製 造 業	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	10.5	0.0	-21.0	-21.0	-21.0	26.4
	非製造業	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	15.7	5.3	-5.3	36.9	15.8	-5.3
	全 業 種	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	13.2	2.7	-13.1	7.9	-26.0	-12.8
在庫数量	製 造 業	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	-21.0	5.2	-10.5	-5.3	-10.5	5.3
	非製造業	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-16.7	16.7	8.4	16.7	16.7	-8.3
	全 業 種	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.5	9.6	-3.2	3.2	0.0	0.0
販売価格	製 造 業	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	26.3	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
	非製造業	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	52.6	42.1	57.9	31.6	63.2	21.1
	全 業 種	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	39.4	31.6	39.5	26.3	42.1	21.0
取引条件	製 造 業	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-21.0	-10.5	0.0
	非製造業	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0
	全 業 種	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	-13.2	-7.9	-15.8	-10.5	-7.9	0.0
収益状況	製 造 業	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-5.2	-15.8	-42.1	-57.9	-42.1	0.0
	非製造業	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	5.2	15.8	15.8	5.3	0.0
	全 業 種	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	0.0	-5.2	-13.2	-21.1	-18.4	0.0
資金繰り	製 造 業	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-21.0	-21.1	5.2
	非製造業	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0	10.5
	全 業 種	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-2.6	-2.6	-5.3	-13.1	-10.5	7.9
設備操業度	製 造 業	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	-10.6	5.3	-15.8	-15.8	-31.6	0.0
雇用人員	製 造 業	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	-10.5	-15.8	-21.1	-21.0	-26.3	-10.5
	非製造業	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.2	0.0
	全 業 種	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	-5.3	-7.9	-13.1	-7.9	-10.5	-5.2
景 況	製 造 業	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-21.1	-42.1	-42.1	-36.8	5.3
	非製造業	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	0.0	0.0	-10.6	15.8	5.2	26.3
	全 業 種	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	-13.2	-10.5	-26.3	-13.1	-15.8	15.8

情報連絡員報告総括表（令和7年8月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0
繊維工業	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	1	2
木材・木製品	1	1	2	1	3	0	1	3	0	0	4	0	1	1	2	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	2	2
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	8	8	1	17	1	2	17	0	1	18	0	2	10	7	0	17	2	1	13	5	0	15	4	1	12	6
100%	15.8%	42.1%	42.1%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	52.6%	36.8%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	63.2%	31.6%
卸売業	1	3	2	0	5	1	1	5	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				1	6	0	0	6	0
小売業	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	4	0	2	2	0	0	4	0				0	4	0	1	2	1
サービス業	4	0	1				2	3	0	0	4	1	3	1	1	1	4	0				1	4	0	3	1	1
建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
運輸業	0	0	2				0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	10	4	5	3	7	1	7	11	1	0	18	1	6	9	4	1	17	1				2	18	0	4	12	3
100%	52.6%	21.1%	26.3%	25.0%	58.3%	8.3%	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	47.4%	21.1%	5.3%	89.5%	5.3%				10.5%	94.7%	0.0%	21.1%	63.2%	15.8%
38	13	12	13	4	24	2	9	28	1	1	36	1	8	19	11	1	34	3	1	13	5	2	33	4	5	24	9
100%	34.2%	31.6%	34.2%	12.9%	77.4%	6.5%	23.7%	73.7%	2.6%	2.6%	94.7%	2.6%	21.1%	50.0%	28.9%	2.6%	89.5%	7.9%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	86.8%	10.5%	13.2%	63.2%	23.7%

情報連絡員報告総括表（令和7年8月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	1	1	0
	繊維工業	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	1
	木材・木製品	0	1	3	0	4	0	2	2	0	0	2	2	0	1	3	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	鉄鋼・金属	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
非製造業	輸送用機器																										
	その他																										
	卸売業	1	3	2	0	6	0	2	4	0	1	5	0	1	4	1	0	6	0			1	5	0	2	4	0
	小売業	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	商店街	2	2	0	2	2	0	3	1	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0			0	4	0	0	1	2
	サービス業	4	0	1			4	1	0	0	0	3	2	3	1	1	2	3	0			1	4	0	2	2	1
	建設業	0	0	1			1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1			0	0	1	0	0	1
	運輸業	0	1	1			1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1				0	2	0	0	0	1
	その他																										
	19	8	6	5	2	9	0	12	7	0	1	16	2	6	8	5	2	15	2			2	16	1	5	10	4
100%	21.1%	36.8%	42.1%	5.3%	78.9%	15.8%	26.3%	68.4%	5.3%	5.3%	47.4%	47.4%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	52.6%	42.1%
	卸売業	1	3	2	0	6	0	2	4	0	1	5	0	1	4	1	0	6	0			1	5	0	2	4	0
100%	42.1%	31.6%	26.3%	16.7%	75.0%	0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	31.6%	42.1%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%				10.5%	84.2%	5.3%	26.3%	52.6%	21.1%
	38	12	13	13	3	24	3	17	20	1	2	31	5	7	17	14	2	30	6	0	13	6	2	30	6	6	20
100%	31.6%	34.2%	34.2%	9.7%	77.4%	9.7%	44.7%	52.6%	2.6%	5.3%	81.6%	13.2%	18.4%	44.7%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	52.6%	31.6%